

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	国語・国語表現		単位数	2単位		履修学年	4年	
目標	国語を適切に表現するために、基礎的な語彙の習得・表現能力を養い、伝え合う力を向上させる。国語を通じて思考力及び心情を豊かにする。文章を熟読し、他者の立場に立てる能力を育む。また、日本文化に対する関心を深め、言語を尊重する態度を育てる。							
使用教材	使用教科書 国語表現 東京書籍							
評価の観点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く)	(書く能力)	(読む能力)	(知識・理解)			
	観点・言語文化に対する、意欲を評価する。授業における発問の確かさを評価する。	目的や場面に応じて筋道を立てて話したり聞いたりすることを評価する。	自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立てて適切に文章に書くことを評価する。	記述ルールを知り、文章を読んで、的確に要約し、まとめることを評価する。	表現と理解に役立てるため文法のルール、表記、漢字に気を配り、音声まで気を配ることを評価する。			
評価方法	定期考査および、各単元ごとの小テストを実施する。また、提出物は原則として得点化し、評価する。							
学期	学習内容				学習のねらい			
1	調べる - 情報収集の技術				・情報が錯綜する現代社会において、自らが必要としている情報をいかにして収集し、分析するかについて学ぶ。漢字の広場を利用し、語彙力を高める。			
	取材する - 聞き取り取材による情報収集 記録する - 情報の保存と記録 佐佐木信綱顕彰会応募作品の作成				・文献等で得られる情報と聞き取り取材によって得られる情報の違いについて学ぶ。 ・小論文を書く目的で情報を収集し、小論文を執筆する。提出された小論文は得点化し、評価する。 ・短歌の作品をつくり、顕彰会に応募する。提出を評価の対象にする。			
2	説明する - 本のおもしろさを紹介する				・「説明する」ということの意味を考える。実際に自らが読んだ本を例にあげ、説明文を書く。漢字の広場を利用し、語彙力を高める。			
	報告する - 情報を整理し文章にまとめる 発表する - 情報を整理し口頭で伝える 三重県俳句コンテストの応募作品作成				・報告書の書式について学ぶ。また、報告書作成についての注意事項も学ぶ。 ・発表の技術を学ぶ。資料とデータの分析、表やグラフの形態について ・提出された俳句は、提出物として評価し、その後俳句コンテストに応募する。			
3	意見文を書く - 構成を考える				・考えたことを論理的に書くため、文章展開の型を学ぶ。漢字の広場を利用し、語彙力を高める。			
	小論文を書く - 「考え方」を考える				・広い視野にたって、論じることを心がける。教材文を利用して自分の考えをまとめる。(原稿用紙800字～1200字)			
学習上の留意点	・各学期、定期考査以外に小テストを実施し、単元ごとの理解度をはかりながら授業を進めていく。文法や音声を自らチェックできるようにする。							